

ウルグアイ・ラウンド

日本の米は自由化されるか

勝部・日本は、アメリカの農業に対して最大の輸入国です。それなのに、なぜ米も買えないのでしょうか。納得できない人が大勢いるのです。

ボーン・日米間の貿易不均衡を是正するための一環として、アメリカ産米を日本に入れてほしいということですが、

勝部・もし、日本が米の市場を一部開放したとするならば、現在、カリフォルニアから日本人が食べられるジャポニカ系の米は、どれくらい輸出できますか。ボーン・好天が続くなどの理想的な条件を整えば、日本の米需要の10%は賄うことができると思います。

勝部・関税化について、カリフォルニアの農民はどう考えているのでしょうか。



石倉氏

ボーン・農民の立場からすれば、関税化については、強行に指示していると思いますが、日本の米市場が100%開放されるとは思っていないし、現実のものとして期待していないと思います。勝部・米の部分開放をしてもいいという意見もありますが、どう考えていますか。

石倉・部分開放というのは、アメリカは要求していないんです。関税化にこだわっているのです。仮りに、部分開放を認めたとすると、やはり最後は自由化させられてしまうのです。ですから、部分開放を含めて関税化構想には絶対に反対です。

さつきカリフォルニアの農民が、関税化構想を強く指示しているといっていました。私はおかしいと思うんです。この間アメリカで、農業保護色を強めた農業法案が可決し、その法案の中に関税化反対の立場などを明確にした議会の意図表明というものも添付されていたんです。

勝部・関税化といっているながら、一方で農業保護を強めるような農業法案が可決されたというのは、日本人にとって奇異な感じがします。ウルグアイ・ラウンドと矛盾する動きだと思いませんか。



会場から質問する伊藤さん

ボーン・矛盾するこの件に対する意見は当然だと思います。生産者はだれでも保護がほしいのです。しかし、みんなに保護を与えてしまうと、国際的な貿易体制が停止してしまい、アメリカだけでなく多くの国々がダメージを受けてしまうのです。そういう状況が起きてはいけな

いと思うので、大統領などががんばっているわけです。やはり保護は増やすのではなく、減らす方向にもって行くべきだと思います。

勝部・自由貿易を確保しようということには、日本も反論ありません。ウルグアイ・ラウンドでは、米を除いては成功させたいと思っているのです。

米を自由化するかどうか、消費者はどんな受け止め方をしているのでしょうか。

竹井・米の輸入自由化というのは、そんなに大きな問題でない

と思います。結局、最後を選ぶ権利は消費者にあると思うからです。日本の米が安全で安くておいしいとなれば、アメリカの米なんて食べなくていいんです。今の段階では、味、安全性は問題ありませんが、価格については、下げていく条件、可能性はいっぱいあると思います。自由化とかいう前に、消費の実態をみつめてもらいたい。やはり、農政のあり方、保護の仕方、流通機構のあり方が問題なのではないでしょうか。

勝部・さて、会場からいろいろな質問が出されています。代表して大館の主婦の伊藤さんにお願います。

伊藤・アメリカはガットのウェーバー条項を最大限に利用してミルクやチョコレートなど十四品目について輸入を制限していますが、なぜ日本の主食である米について輸入自由化を無理押しするのですか。同じように考えることはできないのですか。

ボーン・アメリカとしては、ウェーバー項目になっている品目についても、ガットの交渉のテーブルに載せることを了解しました。ですから日本も米をアメリカと同じように交渉の場においてほしいのです。

勝部・また、農業と工業は違うんだ。農業も国によって条件が違うんだ。それを一律にガット

「稲作農業の歴史探訪」昔の農機具がいっぱい

「新鮮野菜の大特売」早く買わなきゃ、なくなるよ

「すし大食い大会」男性は35コ、女性は21コが最高

『おおだて米まつり』イベント スケッチ